

脳神経外科専門研修プログラム

東京女子医科大学脳神経外科

責任者:川俣貴一

2018年5月1日

脳神経外科専門研修 東京女子医科大学脳神経外科プログラム

はじめに

脳神経外科診療の対象は、国民病とも言える脳卒中(脳血管性障害)や脳神経外傷などの救急疾患、脳腫瘍に加え、てんかん・パーキンソン病・三叉神経痛・顔面けいれん等の機能的疾患、小児疾患、脊髄・脊椎・末梢神経疾患などです。脳神経外科専門医の使命は、これらの予防や診断、救急治療、手術および非手術的治療、あるいはリハビリテーションにおいて、総合的かつ専門的知識と診療技術を持ち、国民の健康・福祉の増進に貢献することです。

脳神経外科専門研修では、初期臨床研修後に専門研修プログラム(以下「プログラム」という)に所属し4年以上の定められた研修により、脳神経外科領域のすべての病気に対して、予防や診断法、手術的治療および非手術的治療法、リハビリテーションあるいは救急医療における総合的かつ専門的知識と診療技能の獲得を目指します。

本文は東京女子医科大学脳神経外科専門研修プログラムの概要を示すものです。

※専門医認定要件については、日本脳神経外科学会専門医認定制度内規(平成27年10月13日改正)を確認してください。

プログラムの特徴や固有の教育方針・実績など

東京女子医科大学脳神経外科は、脳腫瘍、脳血管障害、機能的疾患、脊椎脊髄疾患、小児脳神経外科、頭部外傷などの全ての領域におきまして本邦ではトップクラスの症例数と治療成績を誇っております。総勢で30名以上から成る各疾患別のグループでは複数のスペシャリストが診療にあたっており、各分野で最先端の技術・機器を駆使した安全で確実な脳神経外科手術により良好な治療成績をおさめています。2017年度の手術件数は1000例以上に及び、更にガンマナイフ治療を加えると約1300例の治療を行っており、日本でも有数の治療実績があります。また、化学療法や他の放射線治療を併用するなど、多角的治療により脳神経外科領域の全ての疾患に高いレベルで対応しております。単に開頭術だけではなく、患者様の体の負担を最小限にする低侵襲手術を心掛け、定位的治療法、神経内視鏡や血管内治療などをいち早く導入し、また、術中モニタリングなどにも力を入れることによりそれを実現しています。

問合せ先：脳神経外科医局長 山口 浩司

メールアドレス： yamaguchi.koji@twmu.ac.jp

習得すべき知識・技能・学術活動

1. 国民病とも言える脳卒中や頭部外傷などの救急疾患、また、脳腫瘍に加え、てんかんやパーキンソン病、三叉神経痛や顔面けいれん、小児奇形、脊髄、脊椎、末梢神経などの病気の予防から診断治療に至る、総合的かつ専門的知識を研修カリキュラムに基づいて習得します。
2. 上記の幅広い疾患に対して、的確な検査を行い、正確な診断を得て、手術を含めた適切な治療を自ら行うとともに、脳神経外科医としての能力を研修カリキュラムに基づいて養います。
3. 経験すべき疾患・病態および要求レベルは研修マニュアルで規定されています。管理経験症例数、手術症例数については最低経験数が規定されています。
4. 脳神経外科の幅広い領域について、日々の症例、カンファレンスなどで学ぶ以外に文献からの自己学習、生涯教育講習の受講、定期的な研究会、学会への参加などを通じて、常に最新の知識を吸収するとともに、基礎的研究や臨床研究に積極的に関与し、さらに自らも積極的に学会発表、論文発表を行い脳神経外科学の発展に寄与しなければなりません。専門医研修期間中に筆頭演者としての学会(全国規模学会)発表2回以上、筆頭著者として査読付論文採択受理1編以上(和文英文を問わない)が必要です。
5. 脳神経外科専門領域の知識、技能に限らず、医師としての基本的診療能力を研修カリキュラムに基づいて獲得する必要があります。院内・院外で開催される講習会などの受講により常に医療安全、院内感染対策、医療倫理、保険診療に関する最新の知識も習得し、日常診療において医療倫理的、社会的に正しい医療を行うように努めます。

専門研修プログラムの概略

1. プログラムは、単一の専門研修基幹施設(以下「基幹施設」という)と複数の専門研修連携施設(以下「連携施設」という)によって構成され、必要に応じて関連施設(複数可)が加わります。なお専門研修は、基幹施設及び連携施設において完遂されることを原則とし、関連施設はあくまでも補完的なものです。当プログラムの構成は以下の施設からなります。

基幹施設：東京女子医科大学

連携施設：19 施設

161	東京労災病院脳神経外科	東京都	加藤 宏一
240	海老名総合病院脳神経外科	神奈川県	小林 智範
258	聖路加国際病院脳神経外科	東京都	岡田 芳和
285	埼玉県済生会栗橋病院脳神経外科	埼玉県	鱈渕 博
287	東京都保健医療公社大久保病院脳神経外科	東京都	阿南 英典
1332	東京女子医科大学東医療センター脳神経外科	東京都	糟谷 英俊
1485	戸田中央総合病院脳神経外科	埼玉県	木附 宏
1665	森山記念病院脳神経外科	東京都	松尾 成吾

1713	医療法人光臨会荒木脳神経外科病院	広島県	荒木 攻
1727	板橋中央総合病院脳神経外科	東京都	三浦 直久
1816	医療法人社団伊豆七海会熱海所記念病院脳神経外科	静岡県	杉浦 誠
2147	牧田総合病院脳神経外科	東京都	荒井 好範
2181	医療法人社団武蔵野 TMG あさか医療センター脳神経外科	埼玉県	久保田 有一
2235	菊名記念病院脳神経外科	神奈川県	石崎 律子
6084	亀田総合病院脊椎脊髄外科	千葉県	久保田 基夫
6350	牛久愛和総合病院脳神経外科	茨城県	富永 禎弼
6828	流山中央病院脳神経外科	千葉県	金澤 隆三郎
7145	JCHO 東京高輪病院脳神経外科	東京都	日山 博文
8625	東京女子医科大学附属八千代医療センター脳神経外科	千葉県	川島 明次

関連施設 28 施設（相互関連 7 施設含む）

13	筑波大学医学医療系脳神経外科（相互関連施設）	茨城県	松村 明
16	千葉大学医学部脳神経外科（相互関連施設）	千葉県	岩立 康男
51	京都府立医科大学脳神経外科（相互関連施設）	京都府	橋本 直哉
68	島根大学医学部脳神経外科（相互関連施設）	島根県	秋山 恭彦
79	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科 （相互関連施設）	鹿児島県	有田 和徳
126	神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科 （相互関連施設）	兵庫県	坂井 信幸
130	がん・感染症センター都立駒込病院脳神経外科	東京都	篠浦 伸禎
135	国立循環器病研究センター脳神経外科（相互関連施設）	大阪府	高橋 淳
177	東京都立墨東病院脳神経外科	東京都	井手 隆文
209	東京都立神経病院脳神経外科	東京都	谷口 真
1598	医療法人啓清会 関東脳神経外科病院	埼玉県	清水 庸夫
1608	社団法人伊勢崎佐波医師会病院脳神経外科	群馬県	荒井 孝司
1642	横浜旭中央総合病院脳神経外科	神奈川県	小櫃 久仁彦
1681	一般社団法人至誠会第二病院脳神経外科	東京都	佐々木 寿之
1736	東埼玉総合病院脳神経外科	埼玉県	岩田 幸也
1761	沼津市立病院脳神経外科	静岡県	北村 惣一郎
1885	総合守谷第一病院脳神経外科	茨城県	阿部 圭市
1972	医療法人社団親和会西島病院脳神経外科	静岡県	坂本 真幸
2005	多摩北部医療センター脳神経外科	東京都	岡田 隆晴
2152	三愛病院脳神経外科	埼玉県	猪野 裕通
2278	勝田病院水戸ガンマハウス脳神経外科	茨城県	山本 昌昭
5217	東京都立小児総合医療センター脳神経外科	東京都	井原 哲
5277	医療法人ラポール会田辺脳神経外科病院	大阪府	田辺 英紀

5460	甲府脳神経外科病院	山梨県	篠原 豊明
6311	医療法人財団健貢会総合東京病院脳神経外科	東京都	沼澤 真一
6998	総合新川橋病院脳神経外科	神奈川県	佐野 公俊
7246	国立成育医療研究センター脳神経外科	東京都	荻原 英樹
9811	新百合ヶ丘総合病院脳神経外科	神奈川県	笹沼 仁一

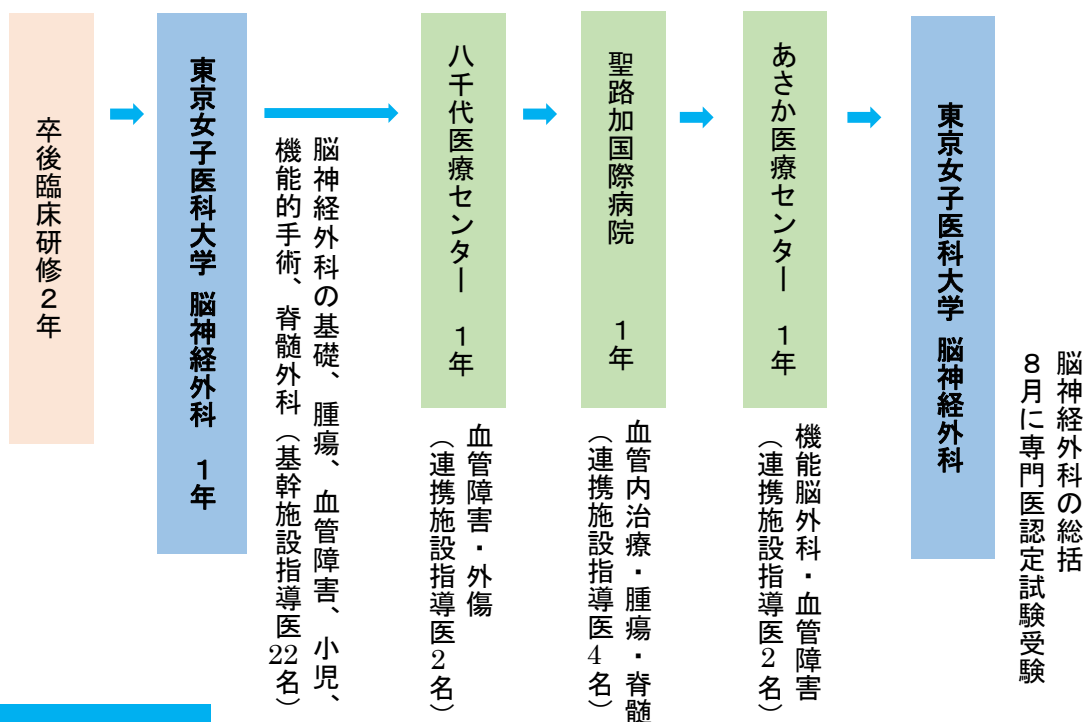
(2018年5月1日現在)

2. 基幹施設における専門研修指導医に認定された脳神経外科部門長、診療責任者ないしはこれに準ずる者が専門研修プログラム統括責任者(以下「統括責任者」という)としてプログラムを統括します。当プログラムでは川俣貴一が統括責任者です。
3. プログラム全体では規定にある以下の要件を満たしています。(別表1)
 - (1) SPECT / PET 等核医学検査機器、術中ナビゲーション、電気生理学的モニタリング、内視鏡、定位装置、放射線治療装置等を有する。
 - (2) 以下の学会より円滑で十分な研修支援が得られています。
 - ア 脳腫瘍関連学会合同(日本脳腫瘍学会、日本脳腫瘍病理学会、日本間脳下垂体腫瘍学会、日本脳腫瘍の外科学会)
 - イ 日本脳卒中の外科学会
 - ウ 日本脳神経血管内治療学会
 - エ 日本脊髄外科学会
 - オ 日本神経内視鏡学会
 - カ 日本てんかん外科学会
 - キ 日本定位・機能神経外科学会
 - ク 日本小児神経外科学会
 - ケ 日本脳神経外傷学会
 - (3) 基幹施設と連携施設の合計で原則として以下の手術症例数を有する。
 - ア 年間500例以上(昨年手術実数 5657例)
 - イ 腫瘍(開頭、経鼻、定位生検を含む)50例以上(昨年手術実数 651例)
 - ウ 血管障害(開頭術、血管内手術を含む)100例以上(昨年手術実数 2245例)
 - エ 頭部外傷の開頭術(穿頭術を除く)20例以上(昨年手術実数 243例)
4. 各施設における専攻医の数は、指導医1名につき同時に2名までです。
5. 研修の年次進行、各施設での研修目的を例示しています。
6. プログラム内での専攻医のローテーションが無理なく行えるように地域性に配慮し、基幹施設を中心とした地域でのプログラム構成を原則とし、遠隔地を含む場合は理由を記載します。
7. 統括責任者および連携施設指導管理責任者より構成される研修プログラム管理委員会を基幹施設に設置し、プログラム全般の管理運営と研修プログラムの継続的改良にあたります。

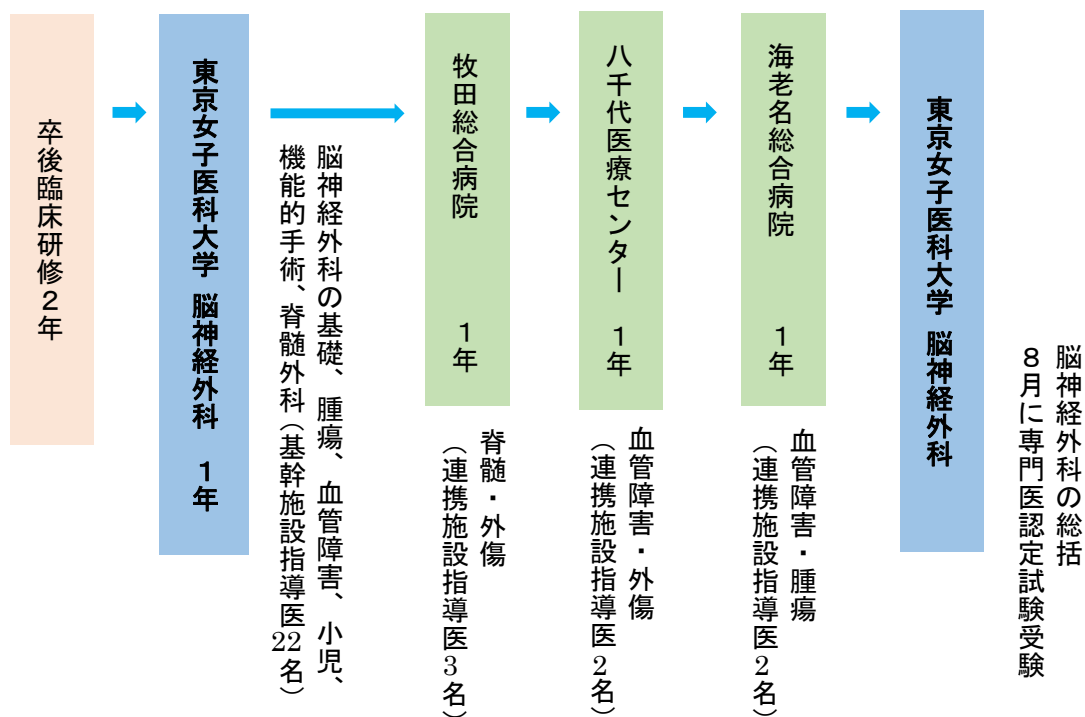
当プログラムでの研修年次進行パターン

プログラム内での研修ローテーションにより到達目標の達成が可能となります。当プログラムでの代表的な年次進行パターンを以下に示します。必ずしもこの通りにはなりません、到達目標の達成が可能ないようにローテーションを組みます。また研修途中でも不足領域を補うように配慮します。

パターン A



パターン B



基幹施設（医療機関コード 0415042）

専攻医教育の中核をなし、連携施設における研修補完を得て、専攻医の到達目標を達成させます。専攻医は基幹施設には、最低 6 か月の在籍が義務付けられています。基幹施設は特定機能病院または以下の条件を満たす施設です。

1. (1) 年間手術症例数(定位放射線治療を除く)が 300 例以上(昨年手術数 980 例)。
 (2) 1 名の統括責任者と統括責任者を除く 4 名以上の専門研修指導医をおく。
 (指導医 22 名：2018 年 5 月 1 日現在)
 (3) 他診療科とのカンファレンスを定期的を開催する。
 (4) 臨床研修指定病院であり、倫理委員会を有する。
2. 他のプログラムへの参加は、関連施設としてのみ認められており、連携施設として参加はしません。
3. 基幹施設での週間スケジュール

月	7:30～8:30 術前術後 カンファレンス 抄読会	9:30～ 手術 (脳腫瘍、小児脳神経外科)	昼 食	13:00～ 手術(脳腫瘍)	17:30～18:00 脳卒中・神経救急カンファ レンス 18:00～18:30 AVMカンファレンス
火	7:30～8:30 術前術後 カンファレンス 抄読会	9:30～ 手術 (血管障害、脳腫瘍) 血管内治療	昼 食	13:00～ 手術 (血管障害、脳腫瘍) 血管内治療	
水	7:30～8:30 術前術後 カンファレンス 抄読会	9:30～ 手術 (血管障害、脳腫瘍)	昼 食	13:00～ 手術 (血管障害、脳腫瘍)	
木	7:30～8:30 術前術後 カンファレンス (英語) 抄読会	9:30～ 手術 (血管障害、機能的外科)	昼 食	13:00～ 手術 (血管障害)	16:30～ 医学英語セミナー
金	7:30～8:30 術前術後 カンファレンス 8:30～9:00 教授回診	9:30～ 手術 (脳腫瘍、機能的外科) 血管内治療	昼 食	13:00～ 手術 (脳腫瘍、機能的外科)	
土	病棟管理				

4. 主な班と手術および治療日

脳腫瘍：月・火・水・金

下垂体腫瘍：月・水

機能的外科：木・金

ガンマナイフ治療：月・水・金

小児神経外科疾患：月・(金)

血管障害：火・水・木

血管内治療：火・金

5. カンファレンス・院内講習

脳卒中・神経救急・AVM カンファレンス	毎週月曜日午後
医学英語セミナー	毎週木曜日午後
Mortality & Morbidity カンファレンス	最終週(症例検討会で)
内分泌内科とのカンファレンス	第四木曜日午後
若手のための手術ビデオカンファレンス	1回/3ヶ月
血管吻合ハンズオン	1回/3ヶ月
TWMU 血管内治療トレーニング	1回/3ヶ月
リサーチカンファレンス	2回/月
Joshiidai Neurological Conference	1回/年
心・脳 ATIS カンファレンス	1回/年
Spinal Disease Conference	1回/年
研修フォーラム(基幹・連携・関連施設)	1回/年
河田町脳神経外科懇話会	1回/年

連携施設

基幹施設による研修を補完します。

1. 1名の指導管理責任者(専門研修指導医に認定された診療科長ないしはこれに準ずる者)と2名以上の専門研修指導医をおいています。ただし、指導管理責任者と指導医の兼務は可です。症例検討会を開催し、指導管理責任者は当該施設での指導体制、内容、評価に関し責任を持ちます。指導管理責任者、専門研修指導医からなる連携施設 研修管理委員会を設置し、専攻医の教育、指導、評価を行うとともに、指導者間で情報を共有し施設内での改善に努めます。
2. 他の研修プログラムへの参加は関連施設としてのみ認められ、複数の研修プログラムに連携施設として参加することはできません。
3. 連携施設は年次報告を義務付けられ、問題点については改善勧告が行われます。

関連施設

1. 統括責任者が、基幹施設および連携施設だけでは特定の研修が不十分と判断した場合、或いは地域医療の不足部分を補完するためにその責任において指定します。
2. 関連施設の要件は特に定めていませんが、関連施設での研修は原則として通算1年を超えないものとします。

研修の休止・プログラム移動

疾病、出産、留学、地域診療専念などの理由により、専門研修は専攻医・統括責任者の判断により休止・中断は可能です。中断・休止期間は研修期間から原則として除かれます。研修期間4年間のうち脳神経外科臨床専従期間が3年以上必要であり、神経内科学、神経放射線学、神経病理学、神経生理学、神経解剖学、神経生化学、神経薬理学、一般外科学、麻酔学等の関連学科での研修や基礎研究・留学は1年を限度に専門研修期間として領域研修委員会(専門医認定委員会)により認めることができます。プログラム間の移動も専攻医、統括責任者の合意の上、領域研修委員会(専門医認定委員会)により認めることが可能です。

プログラムの管理体制

1. プログラム責任者(基幹施設長)、連携施設長から構成される研修プログラム管理委員会を設け、プログラムの管理運営にあたります。研修プログラム管理委員会は専攻医の専門研修について随時管理し、達成内容に応じた適切な施設間の異動を図ります。また、各研修施設における指導体制、内容が適切かどうか検討を行い、指導者、専攻医の意見をもとに継続的にプログラム改善を行います。また、各連携施設においては施設長、指導医から構成される連携施設研修管理委員会を設置し施設での研修について管理運営を行います。
2. 専攻医は研修プログラム、指導医についての意見を研修管理プログラムに申し出ることができます。研修終了時には総括的意見を提出しプログラムの改善に寄与します。研修プログラム管理委員会は専攻医から得られた意見について検討し、システム改善に活用していきます。
3. プログラム責任者は専攻医の良好な勤務環境が維持されるように配慮しています。労働環境、勤務時間、待遇などについて専攻医よりの直接ヒアリングを行い、良好な労働環境が得られていることを確認します。

専攻医の評価時期と方法

1. 研修年度ごとに、指導医・在籍施設の責任者が専攻医の経験症例、達成度、自己評価を確認し研修記録帳に記入します。研修プログラム管理委員会はこれをもとに不足領域を補えるように施設異動も含めて配慮します。
2. 研修修了は、プログラム責任者(基幹施設長)が、経験症例、自己評価などをもとに、技術のみでなく知識、技能、態度、倫理などを含めて総合的に研修達成度を評価します。研修態度や医師患者関係、チーム医療面の評価では、他職種の見解も参考にします。

以上

(別表1)

○:ある ×:なし 数字:人数

1. 設備状況

設備	基幹施設	基幹+連携施設
SPECT	○	12
PET	○	2
ナビゲーション	○	13
電気生理モニタリング	○	20
神経内視鏡	○	10
定位手術装置	○	10
放射線治療装置	○	10
その他特殊装置があれば名称記載	術中MRI Hybrid room	術中MRI、Hybrid room、 XeCT、術中エコー、 術中アンギオ装置、

2. 関連学会認定医数等

(人)

専門医名/認定医名	基幹施設	基幹+連携施設	合計
日本脳卒中学会認定 脳卒中専門医	8	56	
日本脳神経血管内治療学会認定 専門医	3	28	
日本脳神経血管内治療学会認定 指導医	1	8	
日本脊髄外科学会 脊髄外科認定医	1	4	
日本脊髄外科学会 指導医	0	2	
日本神経内視鏡学会 技術認定医	6	13	
日本てんかん学会 専門医	0	1	
日本定位・機能神経外科学会 技術認定医	3	4	
日本定位・機能神経外科学会 施設認定	○	1	

研修進行計画書

パターン	研修年次	施設名	主たる研修内容
A	1	東京女子医科大学 脳神経外科	脳外科一般、脳腫瘍、血管障害、血管内治療 機能・脊髄、ガンマ、小児、下垂体
	2	東京女子医科大学 八千代医療 センター 脳神経外科	脳外科一般、血管障害、外傷、腫瘍
	3	亀田総合病院 脊椎脊髄外科	脊椎・脊髄
	4	あさか医療センター 脳神経外科	脳外科一般、機能脳外科、血管障害
B	1	東京女子医科大学 脳神経外科	脳外科一般、脳腫瘍、血管障害、血管内治療 機能・脊髄、ガンマ、小児、下垂体
	2	牧田総合病院 脳神経外科	脳外科一般、脊椎・脊髄、外傷
	3	東京女子医科大学 八千代医療 センター 脳神経外科	脳外科一般、血管障害、外傷、腫瘍
	4	聖路加国際病院 脳神経外科	脳外科一般、血管障害、血管内治療、腫瘍
C	1	東京女子医科大学 脳神経外科	脳外科一般、脳腫瘍、血管障害、血管内治療 機能・脊髄、ガンマ、小児、下垂体
	2	海老名総合病院 脳神経外科	脳外科一般、血管障害
	3	牧田総合病院 脳神経外科	脳外科一般、脊椎・脊髄、外傷
	4	東京女子医科大学 八千代医療 センター 脳神経外科	脳外科一般、血管障害、外傷、腫瘍
D	1	東京女子医科大学 脳神経外科	脳外科一般、脳腫瘍、血管障害、血管内治療 機能・脊髄、ガンマ、小児、下垂体
	2	聖路加国際病院 脳神経外科	脳外科一般、血管障害、血管内治療、腫瘍
	3	あさか医療センター 脳神経外科	脳外科一般、機能脳外科、血管障害
	4	牧田総合病院 脳神経外科	脳外科一般、脊椎・脊髄、外傷
E	1	東京女子医科大学 脳神経外科	脳外科一般、脳腫瘍、血管障害、血管内治療 機能・脊髄、ガンマ、小児、下垂体
	2	亀田総合病院 脊椎脊髄外科	脊椎・脊髄
	3	聖路加国際病院 脳神経外科	脳外科一般、血管障害、血管内治療、腫瘍
	4	海老名総合病院 脳神経外科	脳外科一般、血管障害

連携施設の専攻医

(基幹施設 東京女子医科大学脳神経外科に6ヶ月以上の研修していただきます。)

パターン	研修年次	施設名	主たる研修内容
A	1	連携施設	脳外科一般
	2	東京女子医科大学 脳神経外科	脳外科、脳腫瘍、血管障害、 機能・脊髄、ガンマ、小児、下垂体
	3	連携施設	脳外科一般、血管障害
	4	連携施設	脳外科一般
B	1	連携施設	脳外科一般
	2	連携施設	脳外科一般
	3	東京女子医科大学 脳神経外科	脳外科、脳腫瘍、血管障害、 機能・脊髄、ガンマ、小児、下垂体
	4	連携施設 関連施設	脳外科一般 脳外科一般、地域

専門研修施設群の構成

(別表3)

専門領域名： 脳神経外科
 専門研修プログラム名称 東京女子医科大学 脳神経外科

専門研修基幹施設

名称	施設としての主な研修担当分野※1	専門研修プログラム統括責任者名	専門研修指導医数	学会登録施設番号
東京女子医科大学病院	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	川俣 貴一	22	23

※1 「施設としての主な担当分野」

1:腫瘍 2:脳血管障害 3:外傷 4:脊椎・脊髄 5:小児 6:機能 7:地域医療 8:その他

※2 「関連施設とする目的」

11:腫瘍 12:脳血管障害 13:外傷 14:脊椎・脊髄 15:小児 16:機能 17:地域医療 18:その他

※3 「専門研修プログラム施設責任者名」 (脳神経外科領域の専門研修責任者)

※4 関連施設の場合は「関連施設」欄に○

専門研修連携施設・関連施設

No.	名称	施設としての主な研修担当分野※1 (連携施設の場合) 関連施設とする目的※2 (関連施設の場合)	専門研修プログラム施設責任者名※3	専門研修指導医数 (連携施設のみ入力)	学会登録施設番号	関連施設※4
1	東京労災病院脳神経外科	2,8	加藤 宏一	4	161	
2	海老名総合病院脳神経外科	2	小林 智範	2	240	
3	聖路加国際病院脳神経外科	2,8	岡田 芳和	4	258	
4	埼玉県済生会栗橋病院脳神経外科	2,7, 8	鰐淵 博	2	285	
5	東京都保健医療公社大久保病院脳神経外科	7,8	阿南 英典	2	287	
6	東京女子医科大学東医療センター	1,2,3,4,5,6,7	糟谷 英俊	6	1332	
7	戸田中央総合病院脳神経外科	1,2,3,7	木附 宏	3	1485	
8	社会医療法人 森山記念病院脳神経外科	1,2,3,4,5,6,7	松尾 成吾	6	1665	
9	医療法人光臨会荒木脳神経外科病院	1,2,3,4,5,6,7	荒木 攻	4	1713	
10	板橋中央総合病院脳神経外科	2,3,7, 8	三浦 直久	3	1727	
11	医療法人社団熱海所記念病院脳神経外科	2,3,7, 8	杉浦 誠	3	1816	
12	牧田総合病院脳神経外科	2,4,7	荒井 好範	3	2147	
13	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター脳神経外科	2,6,8	久保田 有一	2	2181	
14	菊名記念病院脳神経外科	2	石崎 律子	3	2235	
15	亀田総合病院脊椎脊髄外科	4	久保田 基夫	3	6084	
16	牛久愛和総合病院脳神経外科	2,3,7,8	富永 禎弼	2	6350	
17	流山中央病院脳神経外科	1,2,3,6	金澤 隆三郎	3	6828	
18	JCHO東京高輪病院脳神経外科	2,3,7, 8	日山 博文	2	7145	

専門研修連携施設・関連施設

No.	名称	施設としての主な研修担当分野※1（連携施設の場合） 関連施設とする目的※2（関連施設の場合）	専門研修プログラム施設 責任者名※3	専門研修指導 医数（連携施設 のみ入力）	学会登録 施設番号	関連施設 ※4
19	東京女子医科大学附属八千代医療センター脳神経外科	1,2,3,4,5,6,7	川島 明次	2	8625	
20	筑波大学医学医療系脳神経外科（相互関連施設）	11,18	松村 明		13	○
21	千葉大学医学部脳神経外科（相互関連施設）	11,18	岩立 康男		16	○
22	京都府立大学医学部脳神経外科（相互関連施設）	11,18	橋本 直哉		51	○
23	島根大学医学部脳神経外科（相互関連施設）	12,18	秋山 恭彦		68	○
24	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科（相互関連施設）	11,18	有田 和徳		79	○
25	神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科（相互関連施設）	12,18	坂井 信幸		126	○
26	がん・感染症センター都立駒込病院脳神経外科	11	篠浦 伸禎		130	○
27	国立循環器病研究センター脳神経外科（相互関連施設）	12,18	高橋 淳		135	○
28	東京都立墨東病院脳神経外科	12,18	井手 隆文		177	○
29	東京都立神経病院脳神経外科	16	谷口 真		209	○
30	医療法人啓清会 関東脳神経外科病院	13,17,18	清水 庸夫		1598	○
31	社団法人伊勢崎佐波医師会病院脳神経外科	12,18	荒井 孝司		1608	○
32	横浜旭中央総合病院脳神経外科	13,17,18	小櫃 久仁彦		1642	○
33	一般社団法人 至誠会第二病院脳神経外科	13,17,18	佐々木 寿之		1681	○
34	東埼玉総合病院脳神経外科	13,17,18	岩田 幸也		1736	○
35	沼津市立病院脳神経外科	13,17,18	北村 惣一郎		1761	○
36	総合守谷第一病院脳神経外科	12,13,17,18	阿部 圭市		1885	○
37	医療法人社団親和会西島病院脳神経外科	11,12,14,17,18	坂本 真幸		1972	○
38	多摩北部医療センター脳神経外科	13,17,18	岡田 隆晴		2005	○
39	三愛病院脳神経外科	13,17,18	猪野 裕通		2152	○
40	勝田病院水戸ガンマハウス脳神経外科	18	山本 昌昭		2278	○
41	東京都立小児総合医療センター脳神経外科	15	井原 哲		5217	○
42	医療法人ラポール会 田辺脳神経外科病院	12,18	田辺 英紀		5277	○
43	甲府脳神経外科病院	12,18	篠原 豊明		5460	○
44	医療法人財団健貢会 総合東京病院脳神経外科	13,17,18	沼澤 真一		6311	○

専門研修連携施設・関連施設

No.	名称	施設としての主な研修担当分野※1（連携施設の場合） 関連施設とする目的※2（関連施設の場合）	専門研修プログラム施設 責任者名※3	専門研修指導 医数（連携施設 のみ入力）	学会登録 施設番号	関連施設 ※4
45	総合新川橋病院脳神経外科	11,12	佐野 公俊		6998	○
46	国立成育医療研究センター脳神経外科	15	荻原 英樹		7246	○
47	新百合ヶ丘総合病院脳神経外科	1,2,3,4,5,6,7	笹沼 仁一		9811	○